

新学習指導要領やエネルギー基本計画との整合性を図る実践研究を

エネルギー環境 教育のひろば

北海道エネルギー環境教育研究委員会
広報部会
平成30年(2018年)
7月20日(金)発行
第44号



北海道エネルギー環境教育研究委員会総会 研究活動で新たな提起

北海道エネルギー環境教育研究委員会は五月十九日、ホテルライフォート札幌で平成三十年度総会・講演会を開催した。道内の関係者ら約五十人が出席。総会では、平成三十年度の活動計画を報告。また、役員改選では、榎並典昭委員長(札幌市立稲穂中学校長)を再任した。

開会の挨拶に立った榎並委員長は、前年度の第七回北海道エネルギー環境教育研究大会札幌大会の成果や、若手育成の重要性にふれた。また、「これからも体験や実践を通して学ぶことが重要。仲間を増やし素晴らしい委員会をさらに発展させたい」と述べた。議事では、榎並委員長から平成三十年度役員体制、小池千秋幹事長から平成二十九年度の活動報告、平成三十年度の活動計画を報告した。平成三十年度の研究活動は「持続可能な社会創造の当事者としての市民性を養う」という視点に立ち、エネルギー環境教育の在り方について提起を行う

本研究委員会の活動も、昨年十一月十七日・十八日に札幌市立稲穂中学校とホテルライフォート札幌を会場に第七回北海道エネルギー環境教育研究大会を無事終えることができました。当日、小学校は社会科と理科の二授業、中学校は社会科、理科、技術・家庭科、保健体育科の四授業の計六授業を公開し発表することができました。どの授業もエネルギーを切り口とし環境問題を考える上でとても有効かつ斬新な授業内容だったと思っております。そして今年度は、道東支部において研究大会が行われる予定です。十一月に予定されておりますので、多数の皆様のご参加ご協力をよろしくお願い申し上げます。この後、本研究委員会の活動報告等がございます。最近では、本研究委員会に限らず、他の研究団体におかれましては若手の育成が急務であると言われております。そういった意味で本日この後に行われます「ニヤンコピッチ先生こと吉光 司様のご講演はとても楽しみであります。私も、本校の先生方にお話ししましたら、ぜひ見てみたい、聞いてみたいということで、多くの先生が参加しています。

榎並典昭委員長 総会挨拶

どんなに素晴らしい講師の方が素晴らしい講演をなさったとしても、多くの方が楽しく聞いていただき、見ていただき、場合によっては体験していただくことの方が勝るとも劣りません。「聞く」「見る」「やってみる」等の体験をすることが大切で、体験してみないと分からないことがたくさんあります。ですから、各学校でも体験を取り入れた授業が多く行われるようになったのだと思います。平成二十九年三月に新学習指導要領が公示され、小学校では移行期間が始まりました。これまでどちらかというと、指導内容に目が行きがちでしたが、この新学習指導要領では指導方法についても言及されております。そういった意味でも、ぜひとも多くの先生方にお声をかけていただき、多くの方々に本研究委員会の活動に加わっていただき、本研究委員会の素晴らしいさを感じていただいたり、講演会や研修会・学習会に多くの先生が参加されることを期待しております。今後とも本研究委員会に対しましてご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。



総会にて挨拶を行う榎並委員長

うことが示された。また、これまでの研究成果や研究方法の検証に基づく発展と深化、教科や校種の枠を超えた実践研究の推進、会員向けの研修の充実やネットワークづくりにも力を入れる。十一月八日・九日の両日、道東支部研究大会を釧路市で開催、十二月一日には勉強会を、平成三十一年二月十六日に全体研修会をそれぞれホテルライフォート札幌で開催することなどを活動計画に盛り込んだ。

平成二十九年 度 第二回役員会開催

総会に先立ち、平成二十九年度第二回役員会を開催。会には委員長、幹事長、幹事、理事(各研究団体代表・北海道大学エネルギー教育研究会・各支部長)が出席。平成二十九年活動報告、平成三十年度活動計画、平成三十一年度新役員体制を承認した。



総会前に開催された役員会

平成三十年度 新役員

委員長
榎並典昭
(札幌市立稲穂中学校長)

幹事長
小池千秋
(札幌市立信濃中学校長)

幹事
開発部会長
成田昭人
(札幌市立白石中学校長)

研究部会長
熊谷誠二
(札幌市立屯田中央中学校長)

広報部会長
山下豊
(札幌市立篠井中学校長)

大学代表
杉山憲一郎
(北海道大学名誉教授)

理事
北海道生活科・総合的な学習教育連盟
新井弘通
(札幌市立南小学校長)

北海道生活科学研究会
長堀裕信
(札幌市立前田北小学校教頭)

北海道小学校理科研究会
田口拓也
(札幌市立琴似小学校長)

北海道小学校家庭科教育連盟
山崎俊宏
(札幌市立西園小学校長)

北海道社会科教育研究会
山田 悟
(札幌市立栄中学校長)

北海道社会科教育連盟
北本雅人
(札幌市立稲積小学校長)

北海道中学校理科教育研究会
山口正信
(札幌市立篠路西中学校長)

北海道技術・家庭科教育研究会
中林あけみ
(札幌市立手稲東中学校長)

北海道道徳教育研究会
 荒島晋
 ・札幌市立新川西中学校長
 北海道特別活動研究会
 小村淳
 ・札幌市立澄川中学校長
 北海道大学エネルギー教育研究会
 小崎完
 ・北海道大学大学院工学研究院

各支部の活動も充実を図る

平成三十年度各支部の活動計画

役員会、総会には道南支部長の長瀬雅一先生(長万部町立長万部小学校長)、旭川支部長の前田昭彦先生(東川町立東川小学校長)、道東支部長の青木悟先生(釧路市立大薬毛中学校長)と平成二十九年年度まで道東支部長を務めた大森伸顧問(釧路市立青陵中学校長)が出席。各支部の平成二十九年年度の活動報告と平成三十年度の活動計画が承認された。

道南支部長 長瀬雅一
 ・(長万部町立長万部小学校長)
 旭川支部長 前田昭彦
 ・(東川町立東川小学校長)
 道東支部長 青木悟
 ・(釧路市立大薬毛中学校長)

教授 道南支部長 長瀬雅一
 ・(長万部町立長万部小学校長)
 旭川支部長 前田昭彦
 ・(東川町立東川小学校長)
 道東支部長 青木悟
 ・(釧路市立大薬毛中学校長)

〔道南支部〕
 研究主題は「かけがいのない自然環境を守り、エネルギー環境問題を自らの問題として考え、持続可能な社会をめざし、主体的に学び、行動する子供の育成」。

① 研究活動と実践活動として、
 ・社会科、理科、総合的な学習の時間、特別活動、家庭科で授業研究。
 ② ガス副読本の活用、③ エネルギー環境に関する現職研修(学習会、実践交流、道東支部大会参加、エネルギー環境教育に関する実地研修及び地域教材の作成)。

研究団体の全国・全道大会への協力、③北海道電力釧路支店との連携、④各研究団体への参加、⑤授業実践。

⑤に関わり、エネルギー環境教育研究委員会道東支部大会を十一月八日・九日に実施予定。八月は小学校社会科と中学校理科の公開授業、九日はコールマイン坑道の見学会を予定。見学会については、地元以外の方を優先。人数に制限があるので注意。詳細については別途案内を別途案内を



大森 伸顧問(前道東支部長)が、研究活動の充実を期する。

電気の正体を探ろう! 「エネルギー資源や環境に関する効果的な指導方法例と教材開発」

充実！ニヤンピッチ先生の実験室

吉光 司先生による講演会大盛況

総会の後は講演会を実施。電力中央研究所横須賀運管センターの吉光 司氏が「エネルギー資源や環境に関する効果的な指導方法例と教材開発」をテーマに講演した。

講師の吉光氏は「ニヤンピッチ先生」として各地で電気の実験ショーを開催しており、実際の教材を使いながら、授業の進め方などをアドバイスした。

吉光氏の講演会は、まさしく実験ショーである。手作りの実験機材を駆使し、エネルギーがどのようにして作られるか、使われているのか、その仕組みを理解させたり、科学に興味をもたせたり、や教材開発が必要なのかを説明した。

また、化石資源の枯渇や地球環境の問題を、身近な生活から取り上げ、家庭科「エネルギー変換に関する技術」などがあげられる。最後まで参加者の目が輝き、飽きさせることがなかった吉光氏の実験ショーは、教員の授業の在り方にも参考になるものであった。



吉光氏の実験ショー



参加者も実際に体験する



新入会員の募集

連絡先
 〒060-0001
 札幌市中央区北1条西5丁目
 北1条三井ビル2階
 北海道エナジートーク21内

北海道エネルギー環境教育研究委員会

Tel (011) 251-9710
 Fax (011) 251-3974

http://www.enetalk21.gr.jp

- ### 平成三十年度 具体的な取組
- ① 視察(道内視察)研修の開催
 ・平成三十年八月九日(木)
 ・道内のエネルギー環境関連施設での研修
 ・日本エネルギー環境教育学会全国大会(山形県)研究発表
 ・平成三十年八月九日(木)・十日(金)
 - ② 道東支部主催の研究大会への参加及び研究交流
 ・平成三十年十一月八日(木)・九日(金)
 - ③ 会場：山形大学
 ・道東支部主催の研究大会への参加及び研究交流
 ・平成三十年十一月八日(木)・九日(金)
 - ④ 全体研修会
 ・会場：釧路湖畔小・美原中他
 ・平成三十年十二月一日(土)
 - ⑤ 勉強会
 ・研究会担当
 ・平成三十一年二月十六日(土)
 ・会場：ホテルライフオート札幌
 - ⑥ 組織の拡大
 ・全道各地に活動の輪を広げ研究交流と連携の強化を図る。
 ・新会員の発掘に努め、実践要員の強化を図る。